

定盤用架台 (石製・鋳鉄製精密定盤用)

取扱説明書

「正しくお使いいただくために、必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。
またお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。」



株式会社 大菱計器製作所

安全上のご注意

※ご使用の前に、この **取扱説明書** をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に想定される内容を **危険** **警告** **注意** の3つの区分にしています。

安全に正しくお使いいただくために	
この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。 その表示と意味は、次のようになっています。 ● 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。 ● お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。 ● 全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。	
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例	 △ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用)
	 ○ 記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用)
	 ● 記号は、行為を強制する内容を知らせるものです。 図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用)

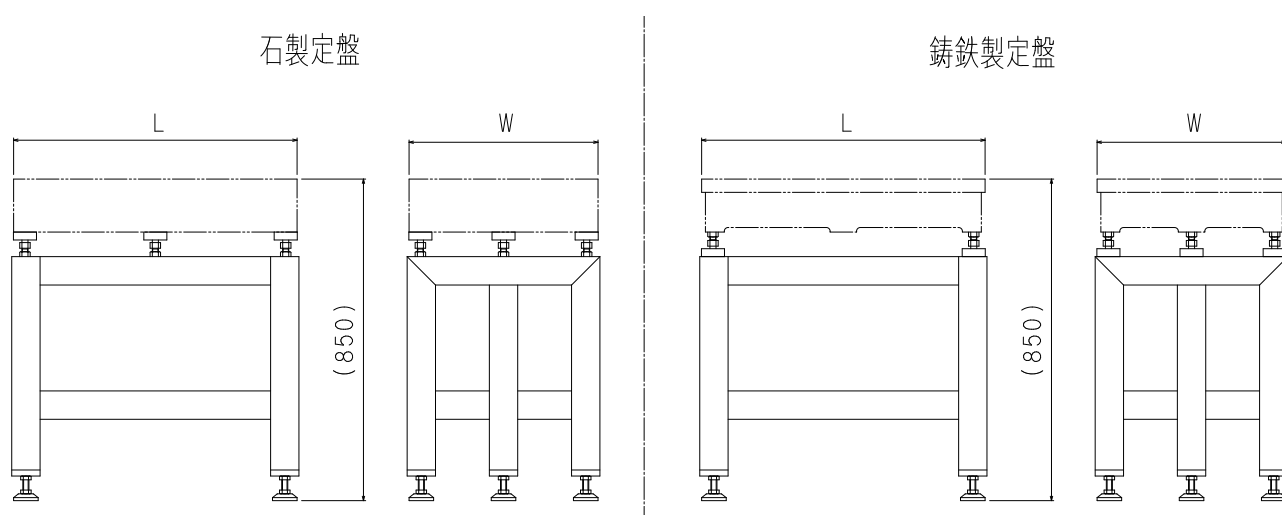
定盤用架台（石製・鋳鉄製精密定盤用） 取扱説明書

1. 製品の特長

- ・角パイプ材を使用し、安全性と使いやすさを重視して設計された製品です。
- ・定盤の高精度を長期間にわたり保持できるよう、堅牢で安定した構造となっております。
- ・定盤上面から床面までの高さは標準で 850mm ですが、ご要望に応じて特注寸法の製作も可能です。

※特殊寸法仕様や、落下防止機構付きなどの特殊架台も製作可能です。

2. 各部の名称と姿図



3. 仕 様

石製精密定盤用架台

定盤寸法 (L×W mm)	コード No.	使用角パイプ (mm)	脚数 (個)	調整ネジ (mm)	定盤上面まで の高さ(mm)	質量 (kg)
600×450	BL101	60×60	5	M 1 6	850	40
600×600	BL102	75×75				45
750×500	BL103					55
1000×750	BL104					63
1000×1000	BL105					75
1500×1000	BL106	80×80				90

定盤寸法 (L×W mm)	コード No.	使用角パイプ (mm)	脚数 (個)	調整ネジ (mm)	定盤上面まで の高さ(mm)	質量 (kg)
2000×1000	BL107		7	M20		110
2000×1500	BL108					120
3000×1500	BL109					155

鋳鉄製精密定盤用架台

定盤寸法 (L×W mm)	コード No.	使用角パイプ (mm)	脚数 (個)	調整ネジ (mm)	定盤上面まで の高さ(mm)	質量 (kg)
600×450	BL301	60×60	5	M 1 6	850	40
600×600	BL302					45
750×500	BL303	75×75				55
1000×750	BL304					63
1000×1000	BL305					75
1500×1000	BL306	80×80	7			90
2000×1000	BL307					110
2000×1500	BL308					120
3000×1500	BL309					155

4. 設 置

【設置場所】

- ・温度変化、湿気の少ない場所。
- ・塵、振動の少ない場所。
- ・定盤等の重量で、ヒズミ、ネジレ等が生じない基礎のしっかりした場所。

◎高精度検査用定盤としてご使用の場合は、他の場所と縁切りしたところにコンクリートで設置台を作製して定盤を設置するか、又は縁切りしたコンクリートの床上に、定盤を堅牢で安定した構造の架台に乗せ設置してください。

【設置方法】

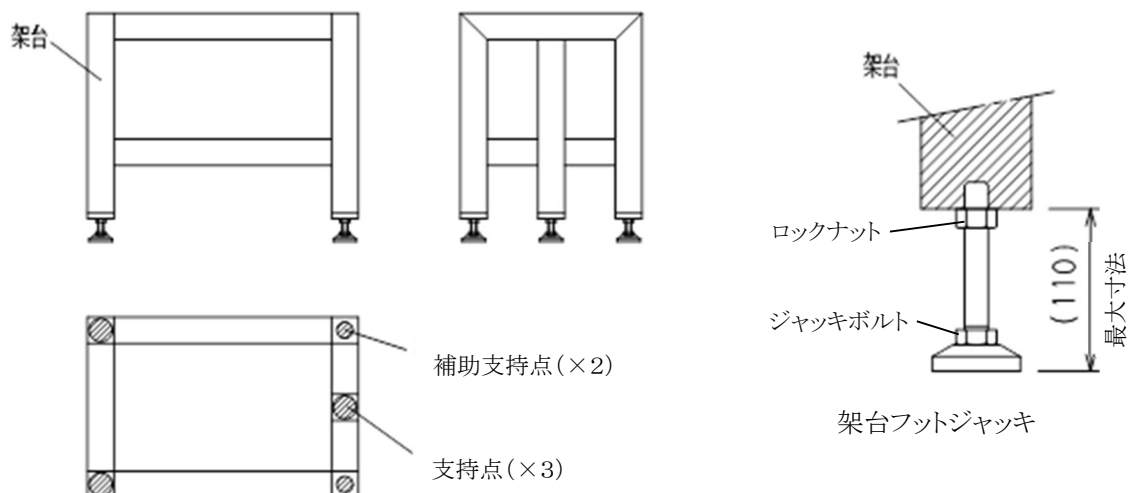
- ・ 平らで強固な床面に水平に設置してください。
- ・ 3点支持し水平状態であれば、定盤の精度は保持されます。
- ・ 定盤及び架台は、下記手順通り左2点、右1点の3点支持（支持点）により設置して、水平を調整してください。

※必ず3点で支持をし、転倒予防のため補助支持点2か所をご使用ください。

[ステップ1] 架台のおおまかな水平調整手順

- ① 全てのロックナットを緩め、補助支持点のジャッキボルトを縮め、3点支持にします。
- ② 架台に水準器を置き、ジャッキボルトを回しおおよそ水平に調整します。（厳密でなくて良い）
 - ・ 気泡が目盛の範囲内にあるように調整します。
 - ・ 縦方向、横方向の水平を確認し調整してください。
 - ・ 水平調整で操作するジャッキボルトは支持点の3つのみです。
 - ・ 調整中は補助支持点が接地しないようにご注意ください。
- ③ ジャッキボルトが回らないように保持し、ロックナットを締めます。
- ④ 再度、水平がずれていないか確認してください。ロックナットを締めると水平がずれる場合がございます。
- ⑤ 補助支持点のジャッキボルトを手で回し、床面に近づけ転倒予防をします。
- ⑥ 架台に定盤を載せます。調整ボルトの位置を確認して慎重に設置してください。

※設置作業は、十分な安全対策と適切な吊り具をご使用ください。定盤の取扱説明書をご覧ください。



【ステップ 2】 定盤の水平調整手順

- ⑦ 全てのロックナットを緩め、補助支持点の調整ボルトを締め、3 点支持にします。
- ⑧ 図 a のように左側支持点の中央に水準器を置き、調整ボルトを回し水平にします。
- ⑨ 図 b のように本器中央に水準器を置き、調整ボルトを回し水平にします。
- ⑩ 上記②、③の手順を繰り返し行い、水平を調整してください。
 - ・水平調整で操作する調整ボルトは支持点の3つのみです。
 - ・調整中は補助支持点が接地しないようにご注意ください。
- ⑪ 調整ボルトが回らないように保持し、ロックナットを締めます。
- ⑫ 再度、水平がずれていないか確認してください。ロックナットを締めると水平がずれる場合がございます。
- ⑬ 水平調整後、補助支持点の調整ボルトを手で回し、転倒予防を行ってください。
- ⑭ 架台の補助支持点のジャッキボルトを手で回し、転倒予防を行ってください。

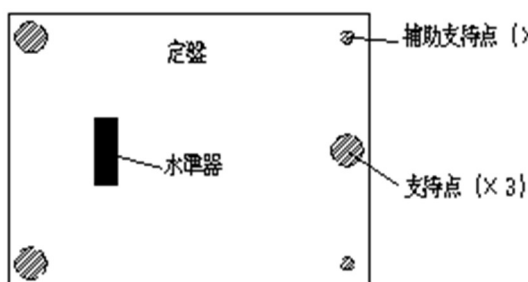


図 a

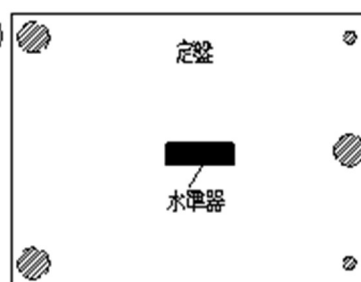
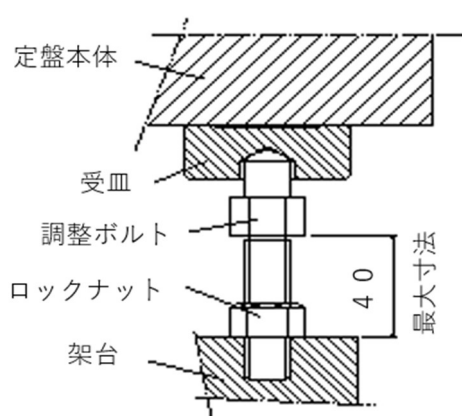
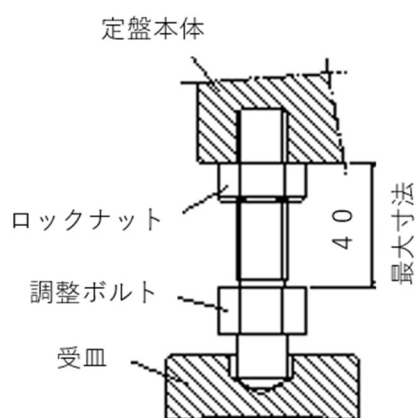


図 b



石製精密定盤



鋳鉄製精密定盤

【注意事項】

- ・定盤の水平出しは、測定精度を左右する極めて重要な工程です。
時間をかけて丁寧に作業を行ってください。
- ・設置後も、定期的に水平度を点検し、必要に応じて再調整を行ってください。

5. 使用上の注意

- ① 使用前には、使用面をきれいにして下さい。
- ② 使用するときや保管時に本器に衝撃などを与えないよう注意して取り扱いってください。
- ③ 使用するところの温度になじませてご使用ください。
- ④ 温度変化の甚だしい場所等での使用や保管はしないで下さい。
- ⑤ 本器は、基礎がしっかりしており、ねじれや傾きの少ない安定した場所に設置してください。
- ⑥ 震動等のある場所に置かないでください。
- ⑦ 無理な荷重や衝撃などを与えないよう注意してください。
- △ ⑧ 製品に鋭利な部分がある場合は、取り扱い時に指や体の他の部位を傷つけないよう注意してください。
- ⑨ 重量がある製品の場合、設置等は2人以上で作業をしてケガには十分注意してください。
- ⑩ 吊り用具は布製またはナイロンスリーブをご使用ください。金属チェーンやワイヤーなど硬質素材の吊り具を使用した場合、製品にキズや割れが発生し、作業者の体を負傷させるおそれがあります。
- △ ⑪ 必要に応じて保護手袋や保護眼鏡を着用して作業を行い、怪我を防いでください。
- △ ⑫ 損傷または劣化した本品を使用しないでください。怪我や事故の原因となる可能性があります。
- △ ⑬ 怪我が発生した場合は、直ちに応急処置を行い、必要に応じて医師に相談してください。

JIS 認証取得工場



株式会社 大菱計器製作所

OBISHI KEIKI SEISAKUSHO Co., Ltd.

本 社 〒940-1164 新潟県長岡市南陽 1 丁目 1216-1

工 場 TEL (0258) 22-1100 FAX (0258) 22-0014

東京営業所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 5 番地

TEL (03) 3293-8881 FAX (03) 3293-8884

名古屋営業所 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 3 番 15 号 日重ビル 2F

TEL (052) 322-4031 FAX (052) 322-5647



■本社・工場

■精密測定機器の設計・開発、製造ならびに校正サービス

(水準器、定盤、直定規、測定基準器、直角定規、ブロック、
ダイヤルゲージスタンド、コンパレーター、偏心検査器、直角度測定器)

ISO9001 認証

JQA-QMA11294